

証券コード：7472

“百年の信頼を未来につなげる”

2024年3月期 第1四半期 決算説明補足資料

2023年8月9日(水)
株式会社鳥羽洋行

I. 2024年3月期1Q決算について

II. 今後の戦略及び見通し

I.2024年3月期1Q決算について

<連結損益計算書の概要>

(単位：百万円)

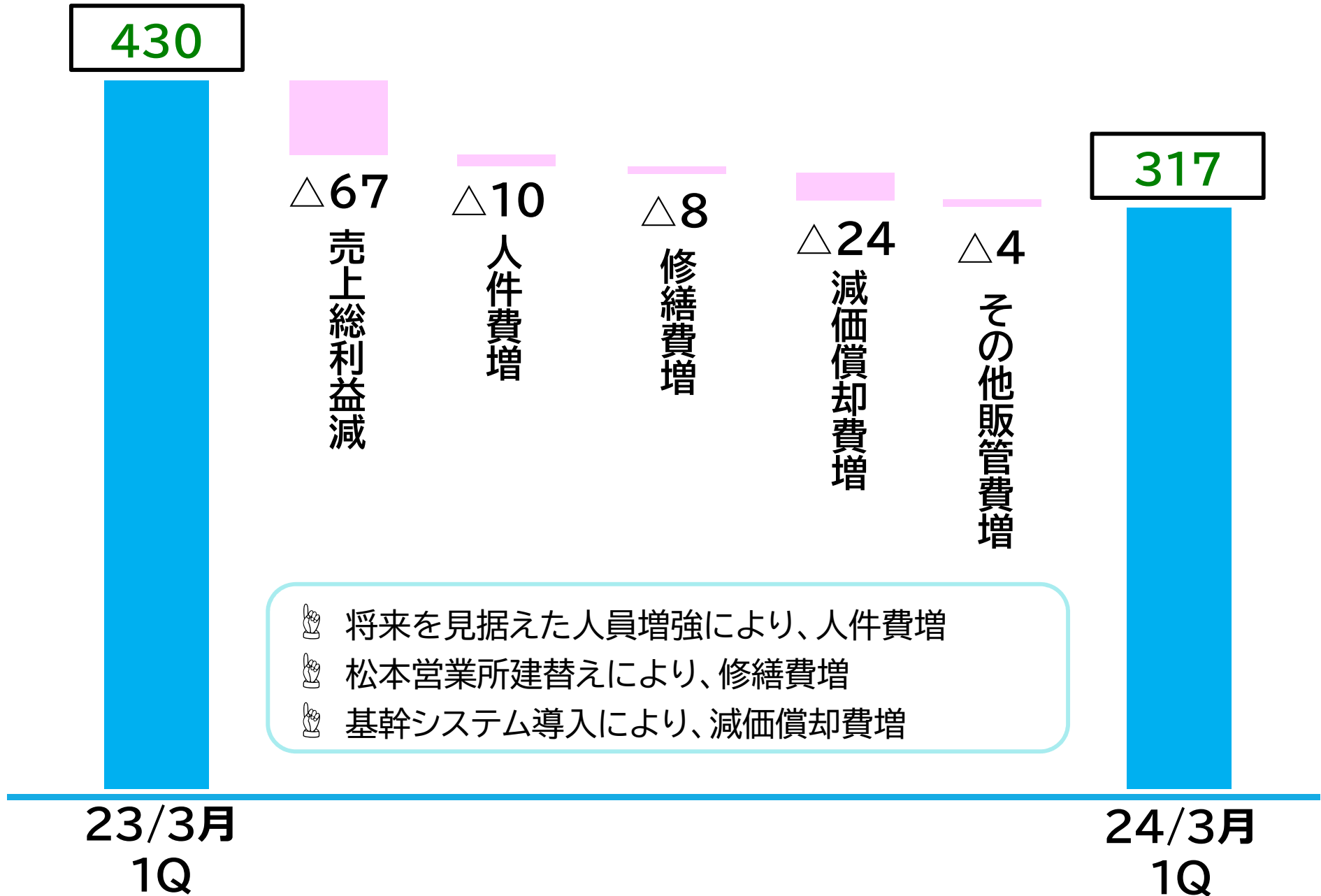
| | 23/3月期 1Q | 24/3月期 1Q | 前期比 (増減率) | 備 考 |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|--|
| 売 上 高 | 7,372 | 6,650 | △9.8% | 国内は前期比で微減 中国市場では消費回復が遅れ、大きく減少 |
| 営 業 利 益 | 430 | 317 | △26.0% | 販売管理費が、前期比7.1%増加 売上総利益率は前期比0.5ポイント増 |
| 営 業 利 益 率 | 5.8% | 4.8% | | |
| 経 常 利 益 | 471 | 350 | △25.8% | |
| 経 常 利 益 率 | 6.4% | 5.3% | | |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 325 | 239 | △26.4% | |
| 四半期純利益率 | 4.4% | 3.6% | | |

Point!

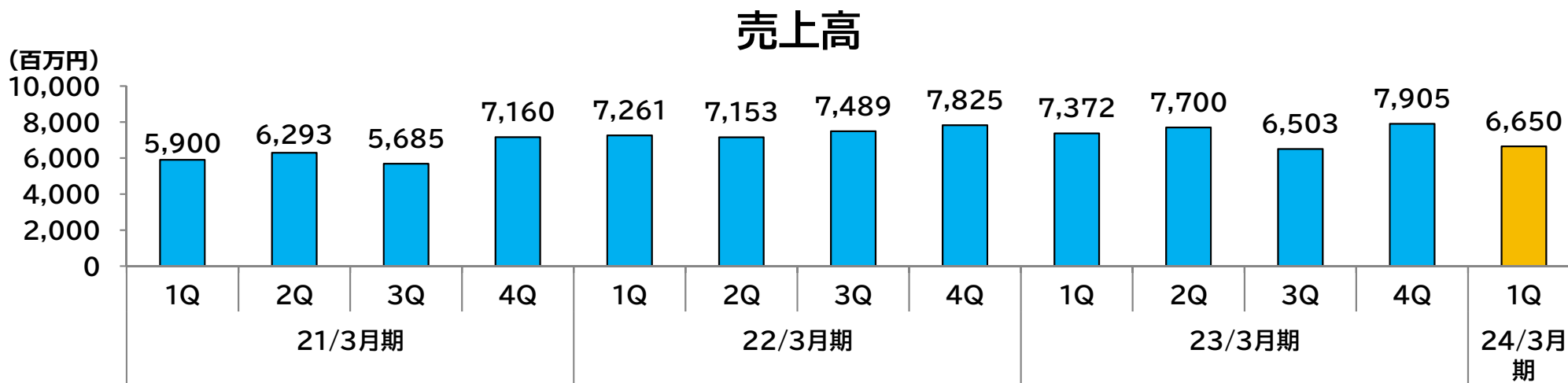
- メモリ半導体の需要減により、半導体関連取引先への売上が低迷
- 一方、自動車関連設備への販売は、需要回復により好調に推移

<連結営業利益増減分析>

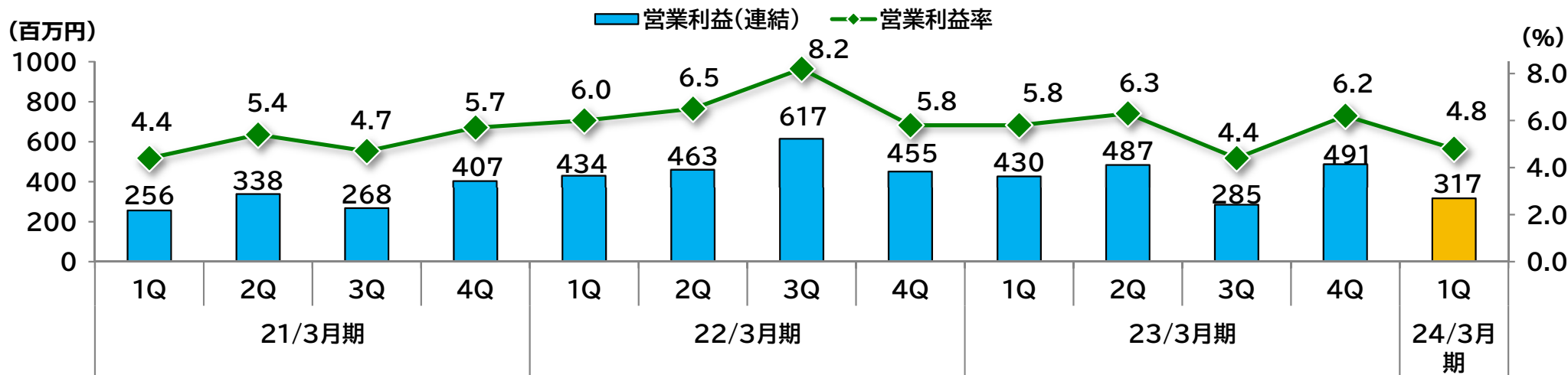
(単位:百万円)



<四半期毎の売上高・営業利益(連結)の推移>



営業利益(連結)/営業利益率



Point!

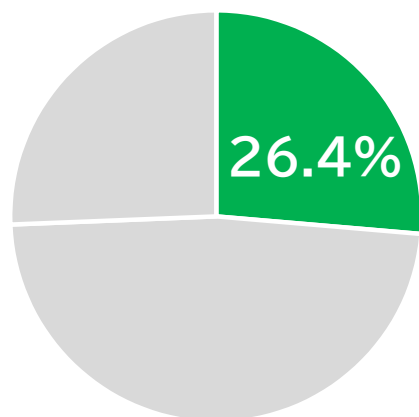
- 前期より、電子部品/半導体関連得意先への売上が伸び悩む
- それに伴い、営業利益も減少

<部門別実績>

制御機器

連結売上高

17億53百万円



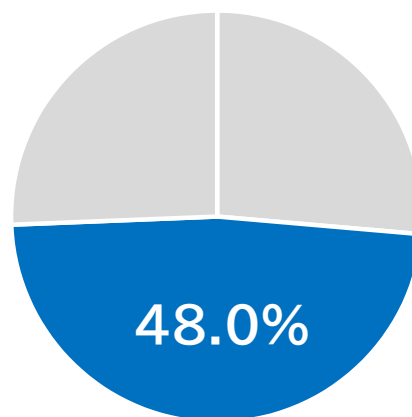
得意先の業種

デジタル機器/半導体・液晶製造装置/基盤実装機/自動車・車載部品/工作機械等

FA機器

連結売上高

31億91百万円



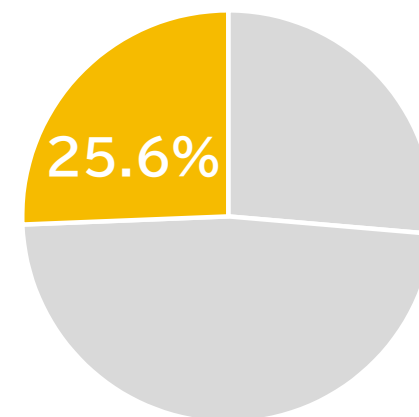
得意先の業種

デジタル機器/自動車・車載部品/半導体・液晶製造装置/OA機器/医療機器/食品機器等

産業機器

連結売上高

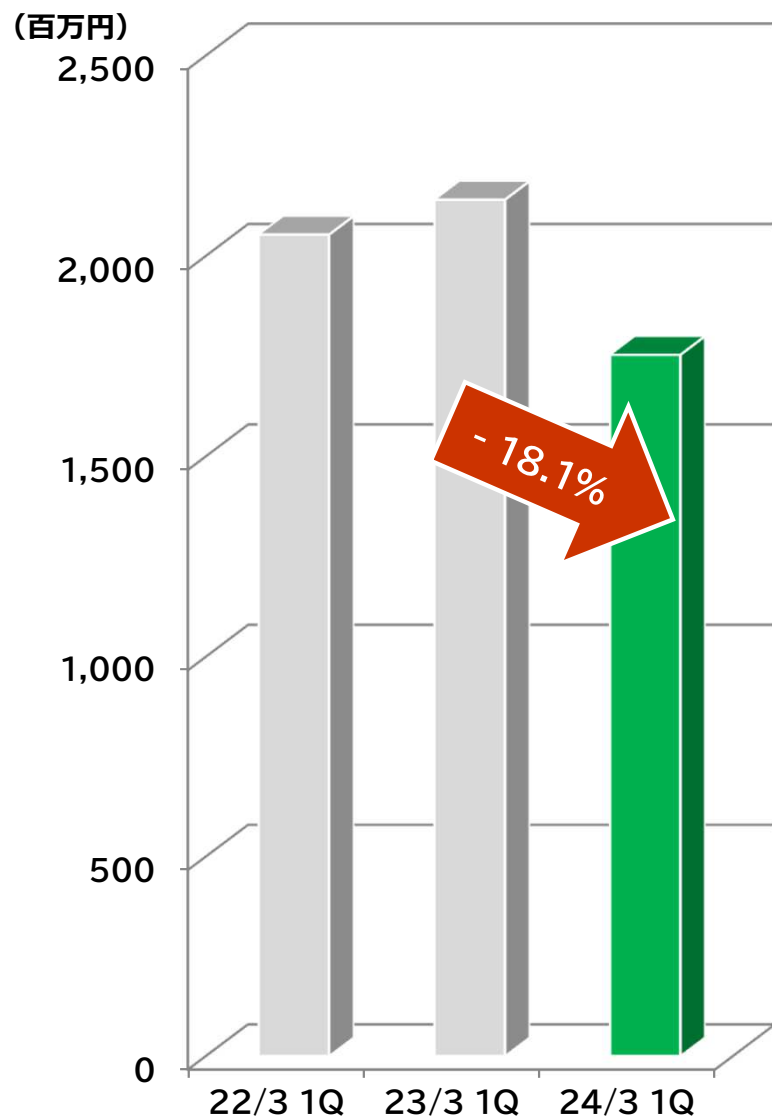
17億4百万円



得意先の業種

デジタル機器/自動車・車載部品/半導体・液晶製造装置/精密機器等

<部門別連結売上高推移>



制御機器

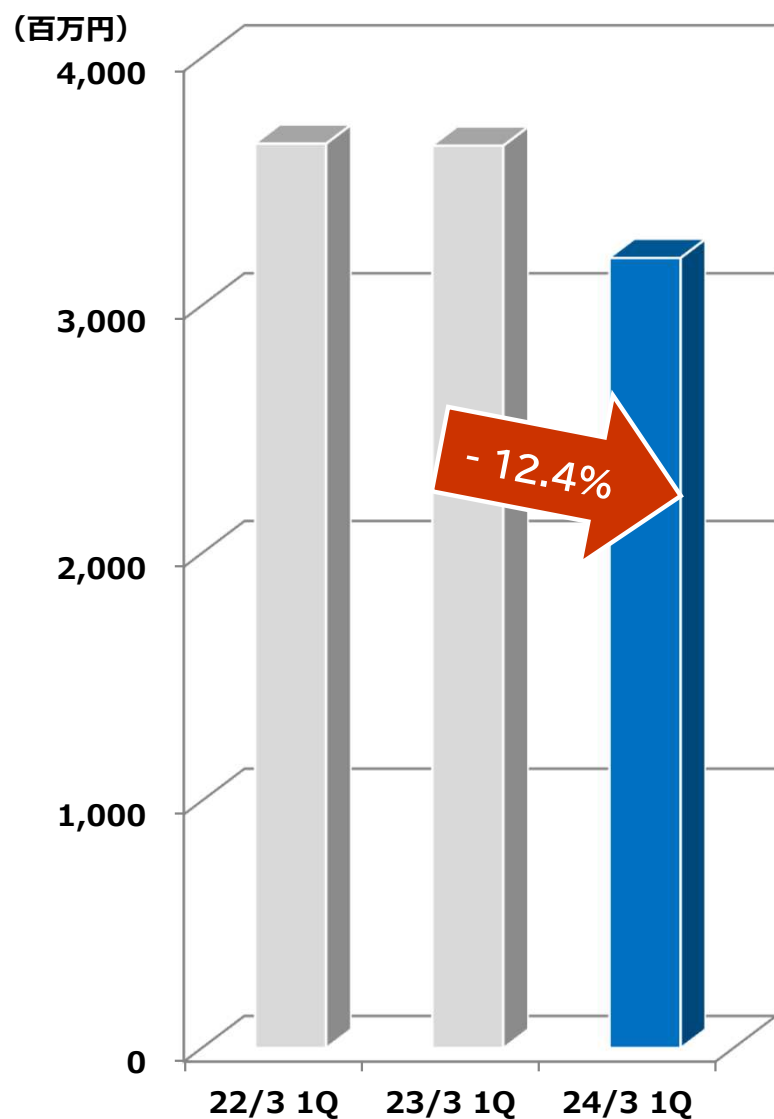
メモリ半導体の需要が伸び悩み、
半導体及び半導体・液晶製造装置
や電子部品関連向けの販売が低迷

主な商材

- ・空気圧機器
- ・電子センサー
- ・圧力センサー
- ・流体継手
- ・真空機器
- ・緩衝器 等



<部門別連結売上高推移>



F A 機器

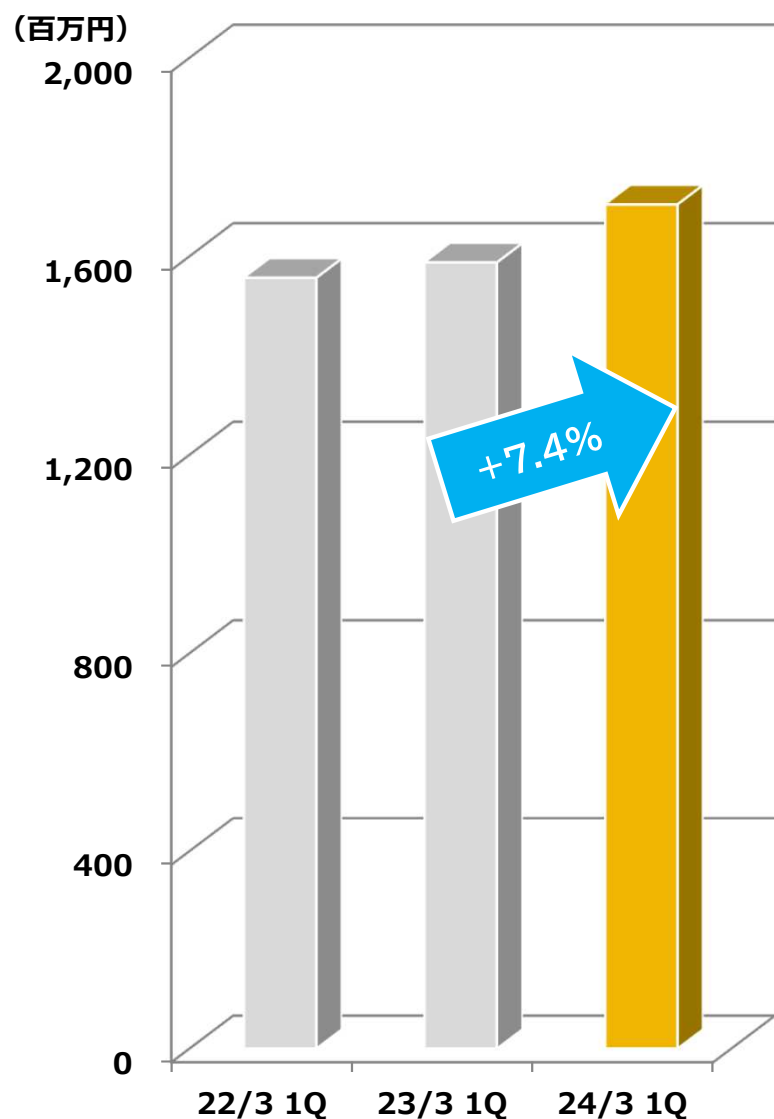
国内の自動車関連向けの販売が堅調であった一方、中国での電子部品関連向けの販売は低迷

主な商材

- ・産業用ロボット
- ・自動組立機
- ・表面実装システム
- ・レーザー加工機
- ・精密塗布装置 等



<部門別連結売上高推移>



産業機器

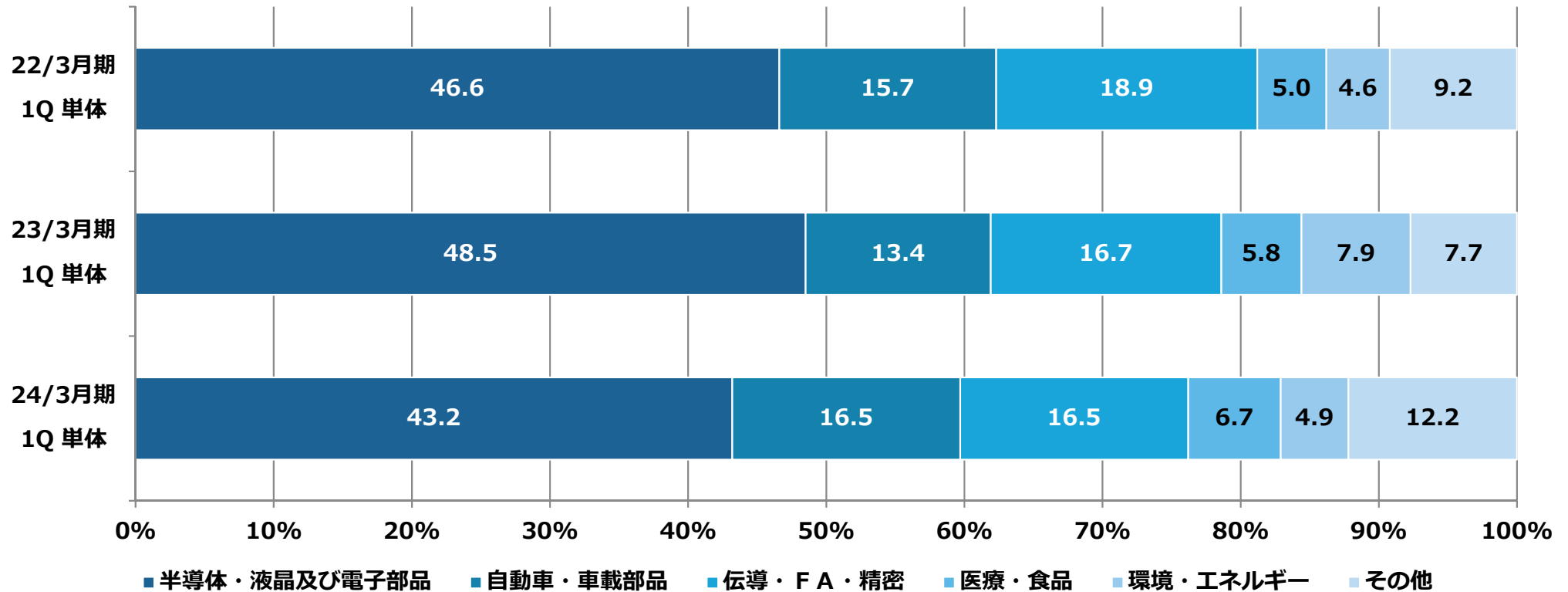
半導体関連向けのろ過フィルター
及び自動車関連向けナットランナー
の販売が好調に推移

主な商材

- ・電動ドライバー
- ・アルミフレーム
- ・無人搬送車
- ・コンベヤ
- ・揚重機
- ・ろ過フィルター
- ・環境システム 等



<業種別売上構成比(単体)推移>



Point!

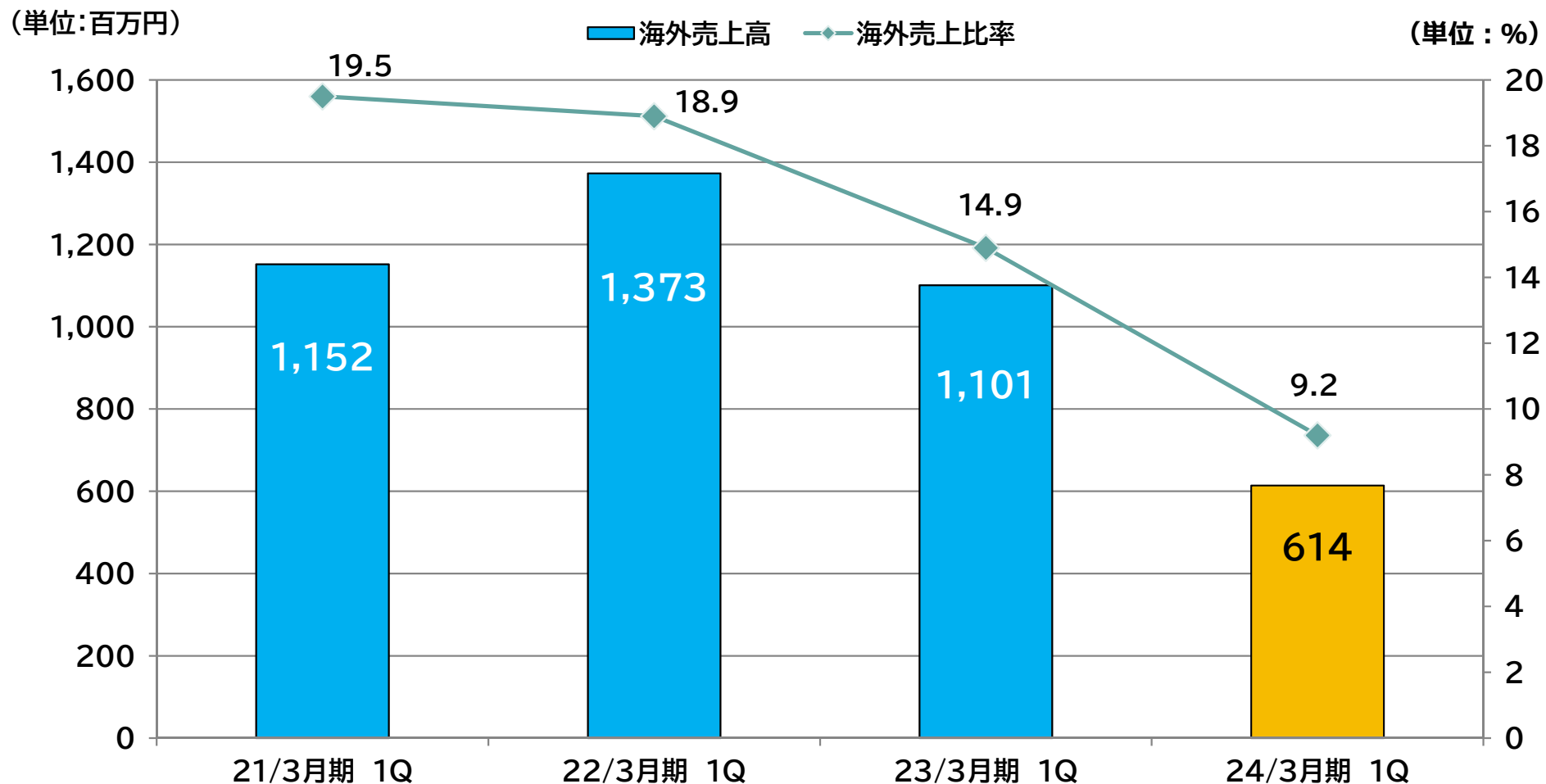
<半導体・液晶及び電子部品>

パソコン及びスマートフォン等のデバイス市場低迷の影響を受け、販売が減少(△5.3P)

<自動車・車載部品>

半導体不足緩和による自動車生産台数の回復と電気自動車関連の設備投資需要増により、売上増(+3.1P)

<海外売上高・海外売上比率>



Point!

- 中国における個人消費回復が遅れ、鳥羽(上海)貿易有限公司におけるスマートフォン関連向け顧客へのロボット関連商材の販売が大きく減少

<連結貸借対照表の概要>

(単位:百万円)

| | 23/3月末 | 構成比 (%) | 23/6月末 | 構成比 (%) | 備 考 |
|------------------------|--------|------------|--------|------------|-----|
| 流動資産 | 22,595 | 77.6 | 22,447 | 76.6 | |
| 現金・預金 | 11,012 | 37.8 | 11,352 | 38.8 | |
| 受取手形・売掛金 ※電子記録債権を含む | 11,084 | 38.0 | 10,437 | 35.6 | |
| 商品 | 363 | 1.2 | 540 | 1.8 | |
| 固定資産 | 6,528 | 22.4 | 6,842 | 23.4 | |
| 資産合計 | 29,124 | 100.0 | 29,289 | 100.0 | |
| 流動負債 | 8,920 | 30.6 | 9,049 | 30.9 | |
| 支払手形・買掛金 ※電子記録債権を含む | 8,099 | 27.8 | 8,537 | 29.1 | |
| 固定負債 | 403 | 1.4 | 540 | 1.8 | |
| 負債合計 | 9,324 | 32.0 | 9,590 | 32.7 | |
| 純資産合計 | 19,799 | 68.0 | 19,699 | 67.3 | |
| 負債純資産合計 | 29,124 | 100.0 | 29,289 | 100.0 | |

Point!

- 構成比に大きな変化はございません。

Ⅱ. 今後の戦略及び見通し

◆ 経済活動の状況

国内は新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、経済活動の回復が見込まれるものの、物価高の影響もあり、個人消費や企業の設備投資マインドは先行き不透明。

◆ 半導体関連

スマホ、PC関連向けメモリー半導体需要低迷は継続する予想。車載向け等のパワー半導体は設備投資含め需要が旺盛ではあるが、全般的に弱含み。

◆ 自動車・車載部品業界

車載向け半導体、原材料及び部材不足も解消されつつあり、好調に推移する見通し。

◆ 地政学的リスク

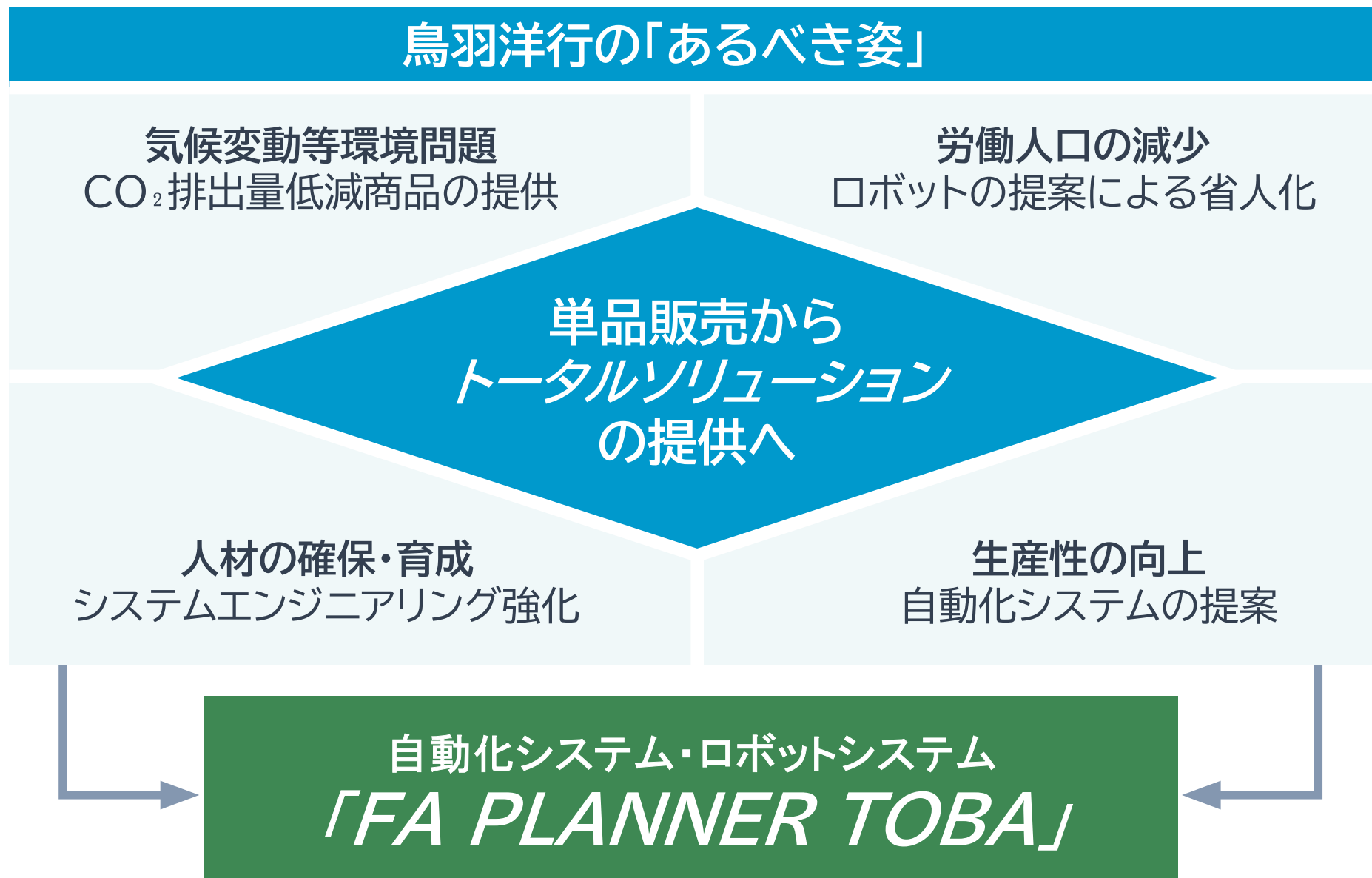
米中貿易摩擦、長期化するロシア・ウクライナ問題の影響により、引き続きエネルギー資源や原材料価格高騰の懸念あり。

<2024年3月期の戦略>

1. 次世代の柱となるユーザー新規開拓、育成
 - ・積極的な展示会出展と来場者フォローによる新規顧客開拓
2. 新商材発掘(SDGs/環境や人にやさしい商品)
 - ・環境負荷や労働負荷を低減できる新たな商材の発掘
3. 装置ビジネスの更なる販売強化
 - ・労働力不足を補う自動化機器とロボットの販売強化
4. 技術商社としての存在価値強化
 - ・各種専門資格等の取得による提案型営業の推進
5. 海外拠点との連携強化
 - ・新規海外拠点の検討

<2024年3月期の戦略>

当社の「あるべき姿」を求め、激変する多様な課題に対応



<2024年3月期の連結業績予想>

(単位:百万円)

| | 第74期 (2023年3月期) 実績 | 第75期 (2024年3月期) 計画 | 前期比 (増減率) |
|---------------------|--------------------------|--------------------------|--------------|
| 売上高 | 29,482 | 30,000 | 1.8% |
| 営業利益 | 1,694 | 1,800 | 6.2% |
| 営業利益率 | 5.7% | 6.0% | 0.3P |
| 経常利益 | 1,800 | 1,900 | 5.5% |
| 経常利益率 | 6.1% | 6.3% | 0.2P |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,429 | 1,290 | △9.8% |
| 当期純利益率 | 4.8% | 4.3% | △0.5P |

<中期経営計画「Next Stage 2026」について>

経営理念を軸とし、中期経営計画を策定し、事業活動を通じて企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指します。

(単位:百万円)

| | 計画 | 計画 | |
|-------|--------------------|--------------------|--------------------|
| | 第75期 (2024年3月期) | 第76期 (2025年3月期) | 第77期 (2026年3月期) |
| 売上高 | 30,000 | 33,000 | 36,000 |
| 営業利益 | 1,800 | 2,060 | 2,280 |
| 経常利益 | 1,900 | 2,160 | 2,380 |
| 当期純利益 | 1,290 | 1,480 | 1,630 |

Point!

- 2023年8月9日、新たに2024年～2026年の3ヶ年計画をリリース
- 今期目標数値:売上高300億円達成に向けて進捗中

※当社グループは、経営環境の変化等に対応すべく、「ローリング方式」により、中期経営計画を毎年度策定することとしております。

国内大型展示会への積極出展

- 2023年 7月26日～28日実施
協働ロボット利活用展(東京ビッグサイト)
- 2023年 10月4日～6日
関西機械要素技術展(インテックス大阪)

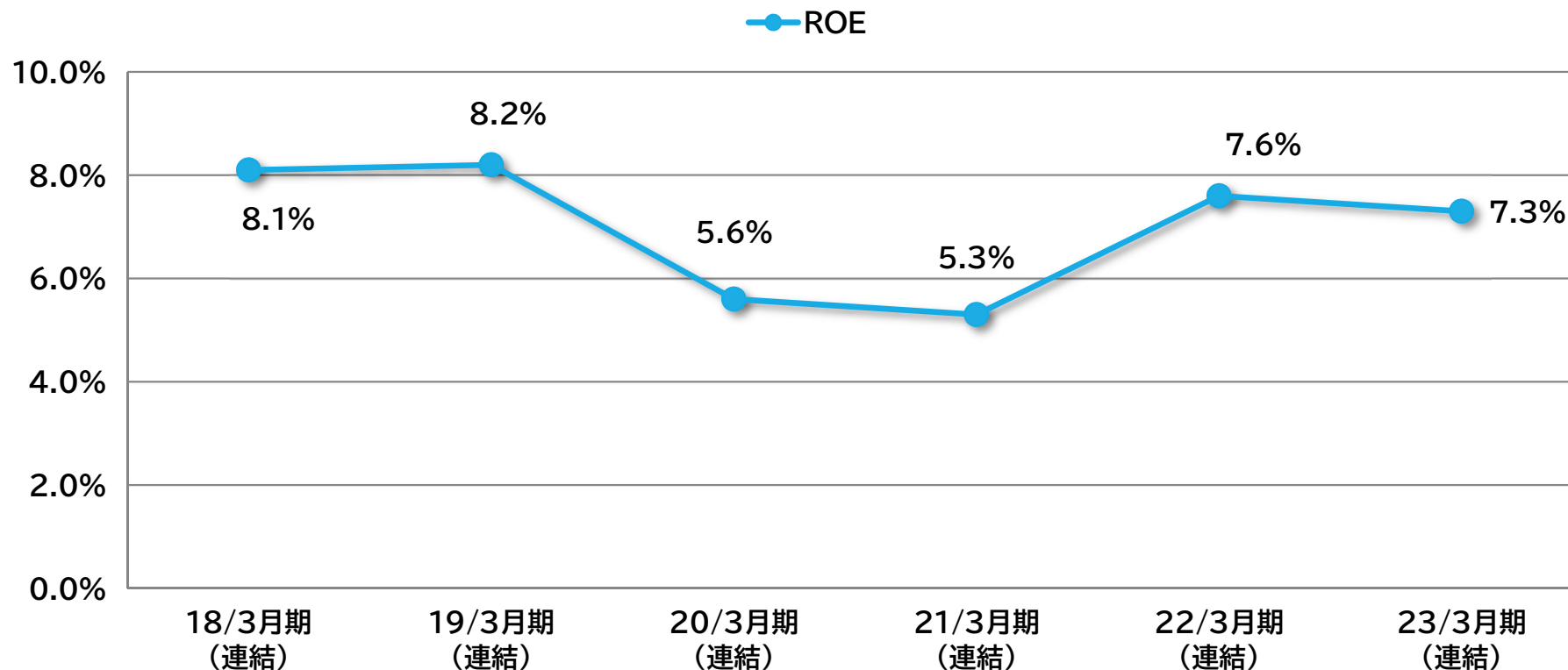


その他 お客様での複合展、ミニ展、セミナー等開催



当社ブースの様子

<ROEの推移>



Point!

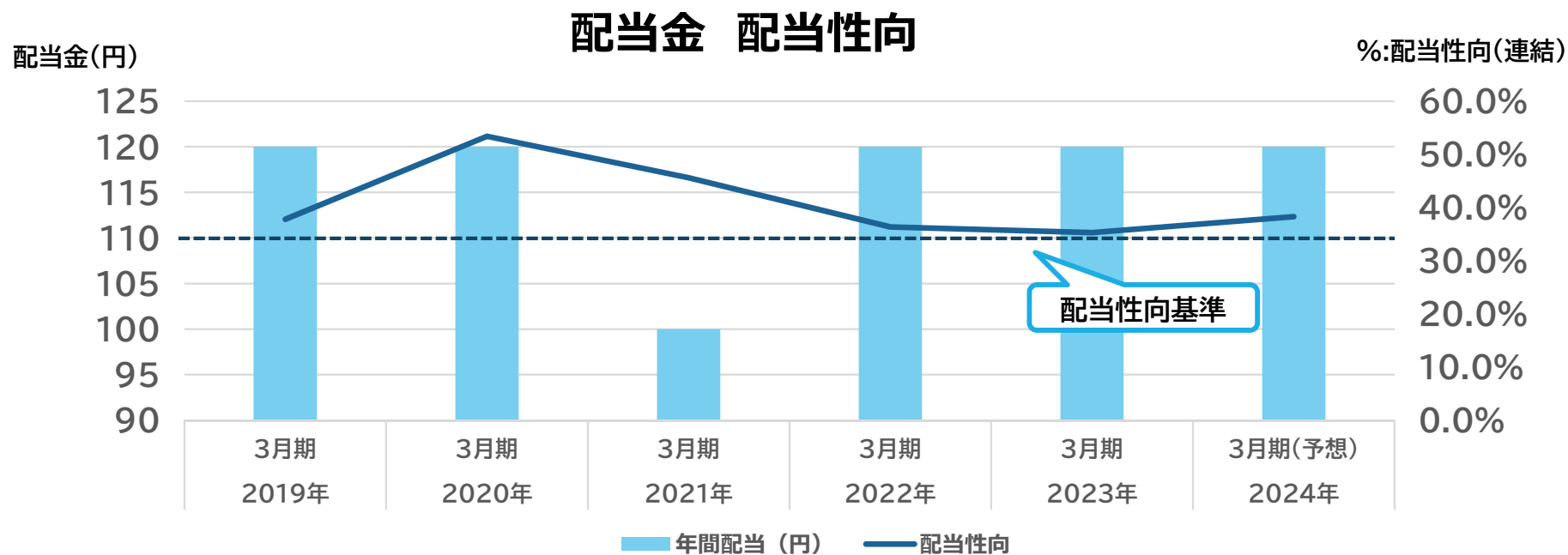
～当社目標値 8.0%～

【施策】

将来に向けての積極的な投資での地盤固めを行うとともに、安定的な株主還元を推進し、業績の拡大とROEの水準を高めます。

<株主還元について>

- ◆ 配当方針:長期的、安定的な利益還元の実施を目標とする
- ◆ 連結配当性向を35%以上とし、一株当たりの配当金を下限40円とする
- ◆ 自己株式の取得等の間接的な株主還元についても機動的に対応



| | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 (予想) |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|
| 年間配当 (円) | 120 | 120 | 100 | 120 | 120 | 120 |
| 配当性向 | 37.8% | 53.4% | 45.6% | 36.3% | 35.3% | 38.3% |

※2021年3月期の配当金は、記念配当 20円を含む

この資料には、2023年8月9日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行
管理本部総務グループIR担当

住 所:〒112-0005
東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号:03-3944-4031

F A X :03-3944-4091

E メール :kanri-01@toba.co.jp